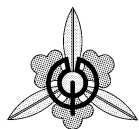


三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第11号 R3.9.30(木)

藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美



「六団六色 ～青春をとりもどせ～」

これは子どもたちが考えた今年度の体育大会のスローガンです。生徒会のメンバーが立派な横断幕を作り、リモート集会で全校にお披露目してくれました。生徒達が当日だけでなく、**体育大会に向けた様々な準備や練習を通して学級・カラー団・学年・全校の絆を深めてくれれば嬉しい**です。

本校の体育大会は生徒会や委員会が中心となって動きます。大会会長は生徒会長と校長、大会副会長は体育委員長と教頭です。準備では運動部が活躍してくれます。また、開会式のファンファーレは吹奏楽部が演奏します。当日の決勝審判・招集・得点・道具準備・記録・誘導・放送・応援席指導・救護に至るまで各委員会が役割を担います。

本校では学年の枠を超え、クラスカラーごとに応援座席を設けています。競技の種目は個人種目(100m・50mハードル・200m・バラエティリレー・60m)、リレー種目(男女混合リレー・女子400mリレー・男子800mリレー)、団体種目(競技玉入れ・大縄ハの字跳び)の他、各学年種目等で構成されています。休み時間には出場種目の練習をする生徒の姿もみられました。

もちろん運動が苦手な子もいるのですが、競技への参加だけでなく、**みんなで協力して一つのことに取り組む体験**が大事なのです。このような経験の積み重ねは、今後の子どもたちの成長に大きな影響を及ぼします。我々教職員一同も、この体育大会をトラブルなく成功させてやりたいと考えています。昨年度、保護者の皆さまにはしっかりルールを守っていただき、スポーツセンターや道路からの観戦はなかったと聞いています。本当にありがとうございます。

今年も昨年同様、リモート観戦していただき、お子様の帰宅後、その頑張りを聞いていただきますようお願いいたします。

「1年生大玉リレー」

4人で持ったビニールシートにバランスボールを乗せ、次のグループにボールを飛ばし、次のグループはシートでキャッチし、パスしながらリレーします。大きく飛ばすと少ない回数で運べるのですが、ミスしたときに取りに行く距離が増えてリスクが大きいし、短く刻むとパスの回数が増えてしまうため時間がかかります。練習のたびにグループの息が合い、スムーズにパスできるようになってきました。クラスやグループごとに作戦を立てて進めているようです。

「2年生バンブーサーフィン」

長い棒をグループで持ち、コーンを回って戻ってきて、棒を並んだグループごとに跳ぶ、くぐる、跳ぶ、くぐるとジグザグに通過させ、最後に次のグループにパスしてリレーします。台風の目はよく見るけれど、ジグザグがかなりハイレベルです。走っている人だけではなく、待っている人も集中力を試される競技です。

「3年生全員リレー」

まさにクラスが一丸となる全員リレーは下級生の憧れです。クラスには走ることが得意な人も苦手な人もいるので、どのクラスもバランスがとれ、結局バトンパスの練習や走順、リレーゾーンのどこでバトンを受け取るのか等、クラスごとの作戦が結果に結びつきます。白熱した戦いにはアクシデントが付きもので、当日まで勝負の行方はわかりません。

「応援団 有志21名」

4年前から生徒会が中心となって始まった応援団、今年は21名が集まりました。コロナで色々な制限がある中行われる体育大会を少しでも盛り上げようと、放課後を使って練習を重ねてきました。先週は学年練習で3年生全員にウエーブの練習をしていました。生徒会長が「みんな協力してくださいよ～」と呼びかけていたのがとても印象的です。そうやってみんなの気持ちが一つになったらいいなと思っています。